

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----|-----------|---|------------------|
| 20 | 藤田 哲哉（19） | <p>1. 富士市のお茶振興の推進について</p> <p>富士市は、本年度の施政方針における農業振興への代表質問に対して、これまでのPR活動や市場調査を目的とした取組をさらに進め、フランスにおける新たな販路拠点を確保、海外販路開拓を支援し、富士のほうじ茶の認知度向上と富士山や茶畑の景観など本市の魅力を発信していく、と回答されました。</p> <p>また、昨年度、富士市は積極的に海外展開を図るため、飲食事業者や若手農業者と連携し、パリを訪問して、飲食店関係者や商社のバイヤーを招き、ほうじ茶を使った料理の試食会を開催。さらに、小売店や飲食店などを巡って市場調査を行った結果、ほうじ茶市場は未開拓で大きな可能性を秘めていると、期待感を膨らませる内容が報じられました。</p> <p>一方、本年度の新茶の季節に生葉の生産農家から、工場で生葉の受入れを断られたという話を聞きました。そこで、ある工場を訪ねると、市場が既に飽和状態となり、今茶期での受入れ量が激しく落ち込んでいる状態でした。</p> <p>そこで、以下伺います。</p> <p>(1) さきの飲食事業者が展開するウェブサイトを見ると、パリ・ニッポン・プロジェクトのページが追加され、富士市の海外販路開拓の支援について記載があり、1回のパリ出張で多数の商談が成立したほか、フランスから富士市への視察団来日も決定。次の展開に期待が持てるという内容でした。今後の具体的なスケジュールや戦略、ビジョンについて伺います。</p> <p>(2) 市場が飽和状態の場合、需要の掘り起こしは必要不可欠であり、富士市が海外販路の開拓を積極的に目指している点は、大変評価できます。そこで、緑茶全体から見るほうじ茶の割合とその効果について伺います。</p> <p>(3) 生葉が工場で受け入れられないことで、今後借りていた畑を持ち主に返却する流れが加速する可能性があります。さらに、返却された持ち主も高齢化等により管理ができない状態に陥り、結果、荒廃地が増加するという負の連鎖が懸念されますが、市はどのような対応をお考えか伺います。</p> <p>(4) また、専業農家にとっても収量の制限がかけられると、防除等の管理がずれ込み大きな負担が発生する懸念があります。富士市の主要農作物の一つであるお茶を扱う農家に対して、どのような助成等をお考えか伺います。</p> <p>(5) お茶の流通状況を見ると、茶期前から茶商の繰越し在庫量は多く、需要の低迷、減少により品質重視の選択買いや必要買いに終始し、小口仕入れが多くなりました。また、飲料消費の多様化によりドリンク原料の需要も少なく、大手の茶商は契約仕入れが増え通常の仕入れを控えたこともあり、大口の荷口は販売までに時間を要し単価が下がりました。さらに気温の上昇及び降雨により摘採遅れで硬葉化</p> | 市長 及び 担当部長 |

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----|-----------|---|------------------|
| 20 | 藤田 哲哉（19） | <p>したものは厳しい値押しとなり、下値は近年まれに見る安値となった工場もあると聞き及んでおります。これらに鑑みると、今までの生産の仕方についても大きな転換期を迎えたと同時に、茶木からの転換の支援を大胆に進めなければならない時期に突入したものと思われまます。富士市の茶業が継続できる環境を整えるため、どのような対応を図るべきかお考えを伺います。</p> <p>2. 高騰する市営住宅の共益費について</p> <p>2024年5月請求分から再生可能エネルギー発電促進賦課金の単価が値上がり、続いて6月請求分からは、政府が実施していた電気・ガス価格激変緩和対策事業の補助金が半額になり、さらに7月以降は、対策事業そのものが終了するため、電気代が値上がりします。</p> <p>市営住宅の共益費は、主に街路灯や通路照明、水道ポンプの電気代で、ほぼ電気料金と言っても過言ではありません。ある市営住宅では、年間の町内会費と電気料金がほぼ同額のため、値上がり後は積立金の取崩しがさらに大きくなると頭を抱えておりました。</p> <p>このことは、入居率が下がったことや高齢化が進んだことも大きな要因となっています。</p> <p>そこで、以下伺います。</p> <p>(1) 昨年度、屋上・外壁防水改善工事と同時にLED化の整備をしていただき、本年度もさらに1棟に同じ工事を行います。このことは、住民の皆さんも大変感謝しており、高く評価しております。しかしながら、電気代が上がるということは、ほぼ全ての物価も上がると予想されます。市営住宅に入居できる要件に鑑みると、入居者にとってはまさに死活問題であります。短期的な負担軽減や中期的なLED化の加速等対応を図る必要があると思いますが、いかがお考えか伺います。</p> <p>(2) 入居者の他の負担金として、駐車料金があります。駐車場の白線が薄くなり、雨天時等では見えづらく危険を感じるとのことで改善要望をしたものの、予算がないとのことで仕方なく個人負担で線を引き直したという報告が町内会長にあったと伺いました。負担金をいただいている以上は、なるべく事故等のリスクが発生しないよう迅速な対応が必要だと思われまますが、いかがお考えか伺います。</p> | 市長 及び 担当部長 |